

経済産業省受託事業
「若者と中小企業とのネットワーク構築事業」
受託機関:(社)香川経済同友会・香川大学

実践型 インターンシップ ハンドブック

香川大学

インターンシップ
を知ろう!

実践型
インターンシップ
を知ろう!

未来への
チャレンジは、
あなた次第!

企業からの
アドバイス

インターンシップ、
初めての体験。

インターンシップ、
成功への道。

キャリアプラン
づくり

ほくたち、
インターンシップに
参加しました!

目次

Internship 1 インターンシップを知ろう!	1・2 P
Internship 2 ～就職を控えた学生必見～ 実践型インターンシップを知ろう!	3・4 P
Internship 3 インターンシップ、初めての体験。	5・6 P
Internship 4 ～準備から研修、報告まで～ インターンシップ、成功への道。	7・8・9P
Internship 5 未来へのチャレンジは、あなた次第!	10P
Internship 6 ぼくたち、実践型インターンシップに参加しました! ～体験学生 生の声～.....	11・12P
Internship 7 企業は、こんな学生たちを待っている! ～実践型インターンシップ導入企業からのアドバイス～.....	13・14P
MEMO.....	15P

インターンシップを 知ろう!

あなたは、「インターンシップ」という制度を知っていますか？

就職を考える学生が、

ひと足先に企業での仕事を体験できるというのがこの制度。

「今学んでいることは、将来に活かせるのか」「働いてどんな感じだろう」

さまざまな疑問を抱えたまま卒業を迎えてしまうなんて、もったいない!

この章では、体験型・実践型共通のインターンシップ本来のメリットやポイントを
分かりやすくレクチャーします。

インターンシップを
知ろう!

1

インターンシップ＝就業体験

インターンシップとは、**企業など実際の職場**において、ある一定の期間だけそこの仕事を体験してみることです。

言い換えれば、**就業のプレ体験**。もともとはアメリカで誕生した制度で、ほとんどの学生が在学期間中に体験し、**就職先選びなどに役立て**ています。企業の業務に直接触れることは、一般的な会社説明会とは大きく異なる貴重な体験です。近年では、日本でも積極的に取り入れられているこの制度。ぜひここで、インターンシップ制度について知っておきましょう。



インターンシップにはメリットがいっぱい!

自分はどんな仕事に向いているのか(体験型)、自分の能力や知識は活かせるのか(実践型)…。就職を考えるにあたり、誰もが悩む問題です。そんな教科書では分からない疑問を解決する糸口となるのが、インターンシップ制度。

実際に働いてみて、仕事の流れや職場の環境を観察する。興味を持っていた仕事に携わり、そのやりがいを体感する。職場の人たちや同じ参加生とコミュニケーションを取りながら、仕事の大変さを乗り越える。

このように、就業のプレ体験を通して「**将来の働く自分が見えてくる**」のが**最大の効果**です!

インターンシップの効果

- ★企業や実際の仕事内容を知る
- ★参加企業での人脈や交流
- ★進路を考えるうえで参考になる
- ★スキルを身に付ける
- ★今、学ぶべきことが見えてくる

インターンシップであなたは何を得的?

インターンシップは、その時期や期間の長さ、業務内容など各企業によってさまざまです。

大切なのは

- ★ただ面白そうだからという理由で不用意に参加しないこと。
- ★自分が興味を持つ分野をしっかりと見極め、それらを経験できる参加先を見つけること。
- ★現場での仕事と真剣に向き合い、自分のスキルアップに努めること。
- ★経験を通して、「絶対に何かを得るんだ!」という心構えを持ってほしいもの。

結果

インターンシップ制度は、皆さんのキャンパスライフが、そして

将来がより有意義になるよう支援するプログラム

なのです。

～就職を控えた学生必見～ 実践型インターンシップ を知ろう!

インターンシップ制度には、**体験型**と**実践型**があります。
今、“**実践型**”インターンシップに注目が集まっています。
なぜ注目されているのか、どんなメリットがあるのか—。
ズバリ、“**実践型**”とは何かをお教えします!

実践型インターンシップ
を知ろう!

1

体験型は、就業の「プレ体験」 実践型は、企業のブレンとして「働く」こと

従来のいわゆる「体験型」インターンシップは、職場体験や実際の業務を見学することで将来の自分を想像し、キャリアプランに役立てるものです。

一方、「**実践型**」インターンシップは、企業から事業活動において実際に問題となっている課題の提示を受け、参加する学生が大学での知識及び個人の感性を活かし、更に企業経営の視点を意識して、担当教員のサポートを得ながら、企業と一緒に**実践的に課題解決に取り組む**という新しいスタイル。その目的は、学生が主体となって企業サイドと議論を重ね、分析・研究し、そこから得られた成果を企業へ提案したり、解決の糸口を見つけることにあります。つまり、わかりやすく言えば、**企業内のブレン的な役割の体験から、実社会の場で「実績を創る」**ことが出来ます。従来の体験型に比べ内容もかなり濃いめ。

かけがえのない経験になること間違いなしです!

実践型インターンシップ
を知ろう!

2

メリットは高度な専門職業人の育成。 就職に活かせる大チャンス!

体験すること(体験型)と実際に働いてみること(実践型)。それって同じじゃないの?なんて声も聞こえてきそうですが、本質は全く違います。

体験型は、企業とは「こんなもの」と感じるものですが、実践型は、企業側としても参加者である学生の専門知識・技術などを評価し、真剣な取り組みを期待しています。最終目標は、**課題を解決する能力を備えた、高度な専門職業人を育成すること**。これは参加する学生にとっても、就職に活かせることはもちろん、この経験は就職後にも大いに活かせること間違いなし。

普通なら絶対に味わえない、企業の実践的な課題に取り組みます。

実践型インターンシップ
を知ろう!

3

産学官の連携により積極的に推進 企業と学生のマッチング・情報交換の場を提供!

香川大学・香川経済同友会・四国経済産業局が連携し、平成18年度から取り組んでいる「若者と中小企業とのネットワーク構築事業」においては、最近全国で注目されている「実践型インターンシップ」を、人材育成に加え、県内企業と意欲のある学生のマッチングの場として、さらにお互いの魅力・能力を認め合う機会として位置付けています。そして、この事業の目的である意欲のある学生の地元定着に繋げていく新たなネットワークの構築を目指しています。香川大学もこの事業の受託機関として積極的に推進しており、学生の参加を募っています。十分な事前説明や指導も行われるので、意欲があればどんどん参加してみましょう!



実践型インターンシップの効果

- ★説明会などで十分な企業情報をゲットできる
- ★香川大学の担当教員・コーディネーターがサポートしてくれるので安心
- ★参加中も担当教員・コーディネーターに相談OK
- ★終了後は成果報告会でより充実度アップ

インターンシップ、初めての体験。

前章では、インターンシップの大まかな内容や効果をご紹介しました。でも、初めての方にとっては、知りたいことがまだまだあるのではないのでしょうか。そこで、この章ではインターンシップに関するさまざまな疑問を収集。あなたの「もっと知りたい!」に答えます。

インターンシップ、初めての体験。

Q1 インターンシップとアルバイトはどう違うの？

A インターンシップは無報酬、アルバイトは有給

もっと詳しく!!

まずは、目的面から見てみましょう。アルバイトについては、企業側が求めるのは「労働力」。もちろん、自分のスキルアップにも役立ちますが、即戦力が求められる場でもあり、それに値する賃金が支払われます。一方、インターンシップの場合は、「学生に就業体験の場を与える」ことが企業の目的にあたります。ビジネスの現場や働くことを理解し、自分のキャリアプランに役立てることが前提であるため、基本的には無報酬です。

インターンシップ、初めての体験。

Q2 インターンシップ制度を導入している企業は、どうすれば見つかるの？

A 大学のインターンシップ担当の窓口などに問い合わせを

もっと詳しく!!

見つけやすく参加しやすいのは、やはり大学のインターンシップ担当窓口などで参加者を募っている企業（実践型）。以前にもインターンシップを実施している、また卒業生が多く働いているなど、その大学とつながりのある企業（体験型）であれば、紹介してもらいやすいと言えます。その他、企業のホームページをチェックするなど、インターネットを使って検索するのも一案。インターンシップ専門のサイトもあるので、積極的に探してみるのもよいでしょう。

インターンシップ、
初めての体験。

Q3 どうすれば参加できる？

A 応募後に書類選考や面接などが行われます

もっと
詳しく!!

通年募集をしている企業もありますが、一般的には2・3月、8・9月といった長期休暇に合わせて実施されることが多いよう。まずは興味のある業種や企業を見つけることから始まります。実践型は、キャリア支援センターで各部局を通じて募集しています。体験型は、履歴書や応募シートなどで応募し、その後書類選考や面談等が行われるのがほとんど。希望者それぞれの意欲や専門技術、知識等、企業側が求める面はさまざまであるため、企業と参加希望者とのマッチングを行うわけです。その後、ビジネス講座やオリエンテーションなど導入部分を経て実際に業務を体験し、その成果や情報交換等プレゼンテーションします。



インターンシップ、
初めての体験。

Q4 何年生から参加できる？

A 3年生から修士1年生を対象としている企業がほとんど

もっと
詳しく!!

一般的には、就職など自分の進路を真剣に考えはじめる3年生からが対象。しかし近年では、2年生から参加できる企業も増えています(実践型)。企業によりさまざまですが、募集人員については数名・十数名というところがほとんどです。

インターンシップ、
初めての体験。

Q5 インターンシップは就職に有利？

A 即、就職活動に結びつくものではありません

もっと
詳しく!!

インターンシップに参加したことを履歴書などに記入することはできますが、それが選考で有利に働くことはないでしょう。しかし、実際の職場を体験し、その経験を生かした自己PRのひとつとして利用することは可能。そのためにも、参加中はしっかりと目的を持って、多くのものを得たいものですね。



～準備から研修、報告まで～ インターンシップ、 成功への道。

インターンシップに興味を持った人や、ぜひ参加してみたいと思った人へ。

ここでは、実際にどういった流れで進んで行くのか

ステップを踏んだシミュレーションを行いたいと思います。

準備から終了まで、各段階での内容やポイントなどにも目を配り、

あなたのインターンシップを成功させましょう！

事業への参加方法と実施の流れ 夏期休暇等を利用して インターンシップに参加する場合

全体の流れ	実施団体	企業等	学校	学生
事業準備期間	方針の決定 対象の特定 計画・スケジュール			
PR期間	PRと参加開拓 事業参加登録	参加検討・社内(学内)調整 決定・登録		
情報共有期間	事業理解促進と 進行方法の伝達 (説明会等開催) 募集情報の収集と 企業サポート	事業理解、進行方法把握 (説明会等開催) 社内調整・担当決定 募集プログラム策定	学内運用方針・ 担当者決定	
マッチング期間	募集情報公開と 学校サポート 企業と学生の マッチングサポート 企業と学校・学生の 最終確定サポート (説明会等開催)	募集情報管理 応募学生情報 確認・選考、 選考結果連絡	学生指導 (ガイダンス、キャリア指導、 応募誘導)	参加申込 希望企業探し 応募提出
実習期間(夏休み)	実習状況の把握	インターンシップ実習	担当者へ挨拶、 学生状況把握など	インターンシップ実習
評価期間	成果報告収集 成果共有・評価 (成果報告会・報告書作成) 次年度準備	成果報告 情報共有/次年度準備	成果報告	成果報告と 学生生活への反映

インターンシップ、
成功への道。

STEP
1

参加希望

学内のインターンシップの担当窓口や
インターネットなどで情報検索

まずは、どんな企業がどのようなプログラムでインターンシップ制度を実施しているのか(実践型・体験型)を調べることからスタート。学内のインターンシップの担当窓口やキャリア支援センターはもちろん、インターネットを使ってとにかく情報を集めましょう。いつ頃実施されるのか、実施期間はどれくらいか、どんな体験や実践ができるのかなど、細かな内容が分かればベストです。過去に実施経験のある企業なら、その情報も必須!

実践型インターンシップでは、キャリア支援センターが、情報発信窓口となり、センター内に配置されたコーディネーターが企業の課題ごとに担当する教員・学生の調整を行っている。

POINT

体験者の感想やアドバイスは強い味方

インターンシップ、
成功への道。

STEP
2

説明を受ける

学内ガイダンスがあれば
ぜひ参加する

自分が在籍する学部でのガイダンスがあれば、ぜひ参加することをおすすめします。一般的にガイダンスでは、インターンシップのメリットや研修内容、募集方法などについても詳しく説明されるので、初めての人にとっても安心ですね。インターンシップは、「自分から積極的に参加する」のが一番の醍醐味。ガイダンスへの参加で、あなたの意欲もさらにアップ!

POINT

後の選考で大切なのは「意欲」!

インターンシップ、
成功への道。

STEP
3

選定

職種や業種などを絞り込む

特に技術系の職種においては、インターンシップでの課題や内容も明確にされていることが多く、その反面、参加学生への要望も提示されているようです。つまり、万人OK!ではないということ。まずは、希望する職種や業種に自分が持っている専門知識や経験、スキルが見合っているかどうかを確認し、募集要件に該当する企業を絞り込んでいきましょう。

実践型インターンシップでは、企業の課題解決に実践的に取り組むことで、挑戦したい課題を見つけることが大切。

インターンシップ、
成功への道。

STEP
4

応募

参加したい企業の応募要領を
集める

具体的に企業を絞り込んだら、次は応募要領などの資料集めをスタート。「STEP1」と同じく、学内のインターンシップの担当窓口やキャリア支援センターや企業のホームページなどから集めることができます。ここで大切なのが、必要な資料以外にも目を配っておくこと。正式な社名や企業の代表者の名前、本社の所在地、事業内容、新商品等を含めた最近の動きなど、一通りは目を通しておくといいかも。

POINT

体験型は早くから選考する企業もあるので、最低でも実施3カ月前には資料を揃えよう!

実践型はその都度募集しているので、学内の掲示板やインターネットに注目しよう!(夏休み実施予定)

STEP 5

インターンシップ、
成功への道。

受け入れ企業決定

経験したい仕事を明確にする

希望する業種や職種が決まったら、学校側が企業担当者からの受け入れ条件を考慮し、学生ごとに受け入れ企業をコーディネートしていきます。学生が企業に直接応募する場合は、選考過程がマッチングになるので、経験したい仕事があれば積極的にアピールを！現場体験ができる貴重な機会を最大限に生かすために、自分の希望する企業を探しましょう。

POINT

やりたい仕事を積極的にアピールしよう！

STEP 6

インターンシップ、
成功への道。

情報収集

事前研修会に参加し、 企業の情報を収集する

受け入れ企業が決まると、研修内容や心構えなどをまとめた資料が渡され、参加者を集めた事前研修会が行われます。同時にその企業の情報を新聞や雑誌・インターネットなどで収集しておくことも大切。ビジネス環境を把握しておくことで、実習中に多くのことに気づき、より深いところまで学べるように。職場に興味を湧ききっかけにもなりますよ。

POINT

体験する職場を知ることが、成功への第一歩！

STEP 7

インターンシップ、
成功への道。

研修

ガイダンスにしたがって 業務をすすめる

体験型は、業務内容や組織、各セクションの役割と陣容といった企業情報やビジネスマナーを習得するガイダンスからスタート。実践型は、企業の問題点や実施してもらいたい案件の提示がスタート。終了後は現場に配属されるので、疑問点があれば積極的に質問しましょう。業務全体を理解するためにも受け入れ担当者以外の方とのコミュニケーションも重要。日報をつける場合は、どんな点に気づき、何を心得、何を反省したかなどを記入して。

POINT

疑問点は放置しない！企業の仕組みについても学ぼう。

STEP 8

インターンシップ、
成功への道。

研修の報告

実習の成果を報告し、 企業からの評価を受ける

研修終了後に行われる報告会では、課題についてだけでなく、何に気づき、何を感じたか、今後どうしていきたいかを発表。企業にとっても普段見えにくくなっている問題を把握する機会なので、率直な意見を伝えてOK。終了後は感想文を提出し、企業からの評価を受けます。体験・実践という経験を通して自分の行動を振り返ることが、将来の選択に大いに役立つはず

POINT

大切なのは、自分自身を振り返ること！しっかりと働く姿勢を身につけよう。

未来へのチャレンジは、 あなたしだい!

「何かできることはないか」と意欲的に仕事を探したり、

「実際の現場を見てみたい・問題を解決したい」と真剣にのぞむ横顔…。

その姿勢は、受け入れ先の企業にもちゃんと伝わります。

頑張っている姿を見れば、だれでも応援してあげたくなるもの。

ここでは、より有意義なインターンシップが体験できる“最後のポイント”をまとめました。

未来のチャレンジは、
あなたしだい

1

思ったことをメモしておこう

実際の現場での業務は、どれも初めての体験。立ち止まるゆとりがないかもしれませんが、できるだけ**記録を残しておくのがベター**です。実際の就職活動の際に見直せば、**自分のキャリアプランをたてる**ときにきっと役立つはず!

- ★職場で気づいたこと
- ★自分の興味があること
- ★新しい発見
- ★仕事に対する疑問
- ★工作中、ふと思ったことなど

未来のチャレンジは、
あなたしだい

2

企業への感謝の気持ちを忘れずに

あなたがどんなにインターンシップに参加したいと思っても、受け入れてくれる企業がなければ体験することはできません。そういう場を与えてくれたことに対する**感謝の気持ち**を忘れずにいれば、**確実に相手にも伝わります**。そのためには毎日の挨拶や会話などのコミュニケーションをおこたらないこと。**素直に教をを請う姿勢が伝われば、きっと、適切なアドバイスや指導を受けることができるでしょう**。インターンシップ終了後は、**礼状を書くのもマナー**です。

ぼくたち、実践型インターンシップに参加しました！ ～体験学生 生の声～

実践型インターンシップに参加したからこそ分かる
得たものや感じたこと、そして、ちょっと困った苦労話…
そこで、実際に体験した2人の現役香大生に
実践型インターンシップについて直撃インタビューしました！

ぼくたち、実践型インターンシップ
に参加しました！

体験学生
生の声

技術から人生観まで、発見がいっぱい！



DATA

岡内 一弘さん KAZUHIRO OKAUCHI ……工学部4回生

- 実践型インターンシップ受け入れ企業／島乃香(株)
- 期間／2005年夏期休暇中

きっかけは、「実践型インターンシップに参加しないか」と教授に声をかけられたことでした。僕も、軽い気持ちで、ほんとにバイト感覚で承諾したんです。実際の課題は、佃煮屋さんで加工するシジミの中に入っているゴミを、手作業ではなく機械で除去できないか、というもの。最初の1週間は、その業務を把握するために手作業を手伝い、次の1週間で機械の精度はどの程度必要か、環境に与える影響などを調査しました。

正直、食品という機械とはかけ離れた作業の中で戸惑いましたが、企業の担当者は僕と同じ技術系から入った人。ここ(異業種)で働くことについて色々話し、人生観についても学べたことがすごく良かったです。

2週間という短い期間でしたが、自由にのびのびとやらせてもらえました。目上の方に対する接し方や、人の話をよく聞くという当たり前のことにもすごく必要性を感じたし。頭では分かっているけど、作業に結び付けるのは難しいと実感。もっと時間があれば、もっと色々な発見ができたかもしれないのに!と、終わった後はちょっと淋しかったですね。今でも、すごくいい経験をさせてもらえたと思っています。

ぼくたち、実践型インターンシップ
に参加しました!

★
体験学生
生の声
★

自分自身が、成長できるきっかけに!



DATA

小高 亮さん RYO ODAKA.....工学部3回生

- 実践型インターンシップ受け入れ企業/四国電子(株)
- 期間/2006年夏期休暇中

僕がインターンシップを知ったのは、企業と大学間で企画されたコラボレーションインターンシップ。1ヵ月という期間を長いと感じ参加しませんでした。その後、他に受け入れ企業がないか自分で探してみたいです。でも結局は見つからず、

先生に相談して機械加工方面で探していただきました。

その結果、実践型インターンシップ受入先としてエンジンのパーツを手がける四国電子(株)を紹介されました。この会社は発注先から加工面における精度を要求されていたので、表面の粗さやキズの原因などサンプルを取りながら調査することが僕の仕事でした。実際に作業現場を見てみると、加工に携わっている人は朝から晩まで暑い中で頑張っている…。仕事をするって本当に大変なんだと身にしみました。自分が覚えていた技術(計測)はあくまでも初歩で、まだまだ未熟だということにも気づけました。

2週間という期間は結果的には短く、やっと慣れてきた頃に終わったので不完全燃焼的な気持ちもあります。でも、授業では使っていなかった機器について実践的に学べたこと。そして、社長のお宅に泊めていただき、社長の経験や生き方を通して親身になって話してくれたこと…。この実践型インターンシップでの経験は、一生忘れないと思います。

★
体験者から
あなたへ!
★

インターンシップを もっと有意義にするための法則

- ★明るく元気に作業するのがモットー
- ★「分からない」ことは恥ずかしいことではない
- ★発言する勇気を持つ
- ★「自分がやりたい方向」へ行けば頑張れる!
- ★想像とは違う、そのギャップを学べ!

企業は、こんな学生たちを 待っている！ ～実践型インターンシップ導入企業 からのアドバイス～

企業はどんな人材を求めているのでしょうか。
実際に実践型インターンシップを導入にしている企業の方に
どんな学生たちを待っているのか
直撃インタビューしました！

企業

1

企業は、こんな学生たちを
待っている！

丸善工業株式会社（包装資材の製造業）

綾歌郡綾川町陶6734

実施
内容

午前中に担当者が業務の説明をし、午後からは実際に現場のオペレーターの元で実践。一つの工程に集中することもあるが、1週間で工場全体の流れを見ることができる。春には、企業の問題解決に向けて一緒に取り組んで行く「実践型」も実施。

私たちがお答えします！



● 常務取締役／三谷 朋幹さん ● 企画開発室係長／竹内 元さん

何にでも興味を持って、どんどん質問してくださいね！

私たちの仕事は、お店で商品を入れるためのブランドやロゴマークが入ったポリエチレンの袋を製造することです。

インターンシップを導入して感じることは、ほとんどの学生さんが遠慮がちだということ。どんなことでも、疑問に思ったことはすぐに聞いて欲しいです。たとえ忙しくても、質問してくれた方がこちらも対応できます。

また、朝礼と一緒に体操したり昼食を共にするなど、私たちもスキンシップを心がけています。

インターンシップは企業にとっても学びの機会であるし、業務内容を知ることによって身近な「袋」に目を向けてもらえれば私たちもうれしいです。

ネットヨタ高松株式会社

高松市香西南町404-1

実施
内容

マーケティング戦略、ホームページコンテンツの作成等、その学生の専門分野を生かした実践型インターンシップを実施。企業の内部に関する情報等も開示するため、具体的な事例に沿って自分の専門分野や研究を生かすことができる。

私がお答えします!



●取締役・管理部長／末廣 恵子さん

いろいろな企業を知ることで、自分の将来に生かしてください。

インターンシップは、企業にとっても自分の会社を客観的に見られるいい機会。ですので、私たちは専門分野に合わせた企業への関わりをしてもらうことにしています。

普段「学問」として学んでいることを活かしつつ、企業の現状を把握し、問題点に着目し、どう解決していくか。そういった提案をしてもらうんです。学生の時というのはものごとを「理論」として捉えがち。ですが、企業という現場は理論だけでは通用しない。例えば、企業では、協調性が大切ですし、その業務によってどれくらい収益が見込めるかという視点も必要。「現実」を知ること、その後のキャリアプランニングに役立てて欲しいです。もちろん、いろんな角度から関わってもらうことで、私たちにとっても大きな気づきがあります。

これからもいろんな分野の学生さんと一緒に、学んでいきたいですね。

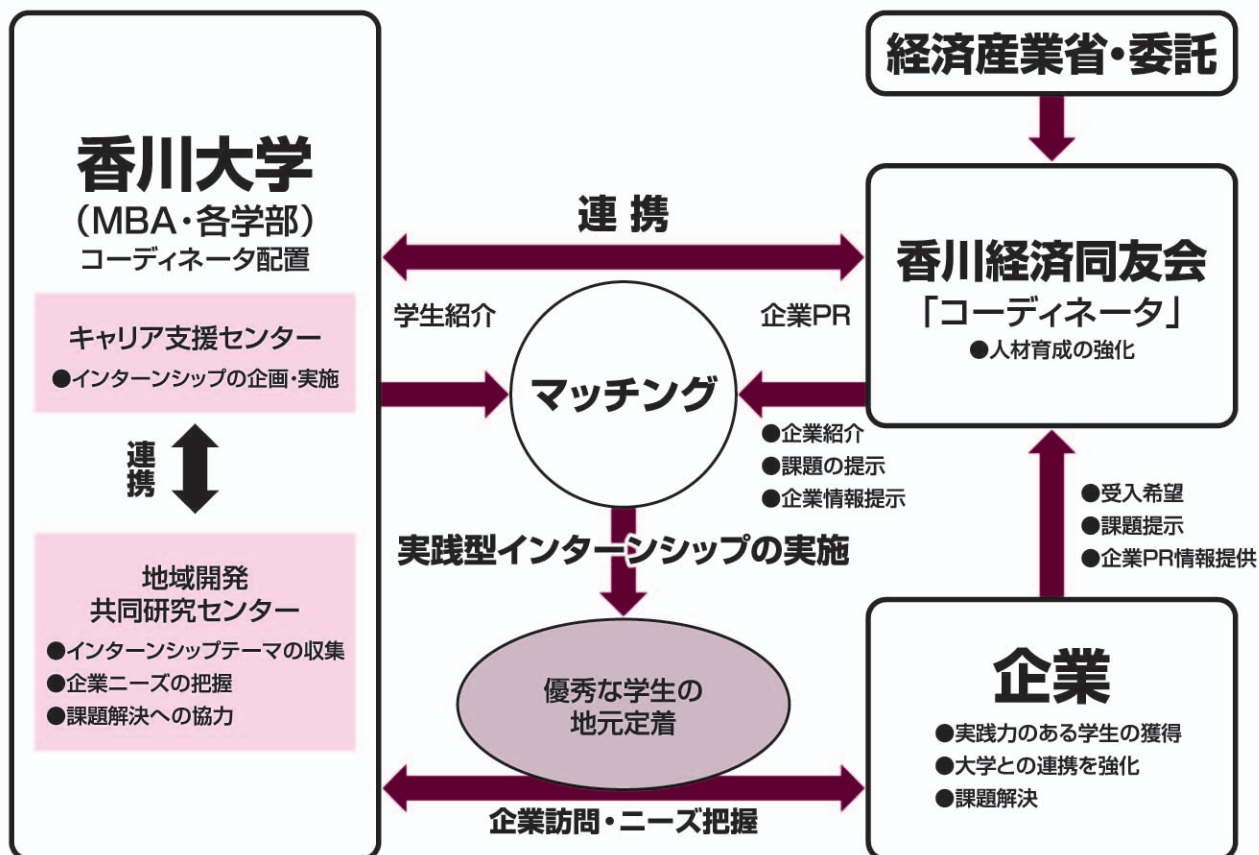


MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

地元企業定着型就職支援ネットワークの構築

若者と中小企業とのネットワーク構築事業概念図



お問い合わせ先

香川大学 就職支援グループ(キャリア支援センター内)

TEL (087) 832-1168

TEL (087) 832-1162

コーディネータ(キャリア支援センター内)

TEL (087) 832-1159

経済産業省受託事業
「若者と中小企業とのネットワーク構築事業」
受託機関:(社)香川経済同友会・香川大学